

踏切番増加に関する質問主意書

右の質問主意書を国会法第七十四條によつて提出する。

昭和二十四年二月十一日

小川友三

参議院議長 松平恒雄殿

踏切番増加に対する質問主意書

省線、等々全國の踏切に番人の必要箇所が數百箇所あるが、政府は放りっぱなしにして交通事故が続出してあり、國民は大死の危険にさらされてゐるが、増加する親切があるか、処見を問う。

右質問に対し速かなる答弁を要求する。